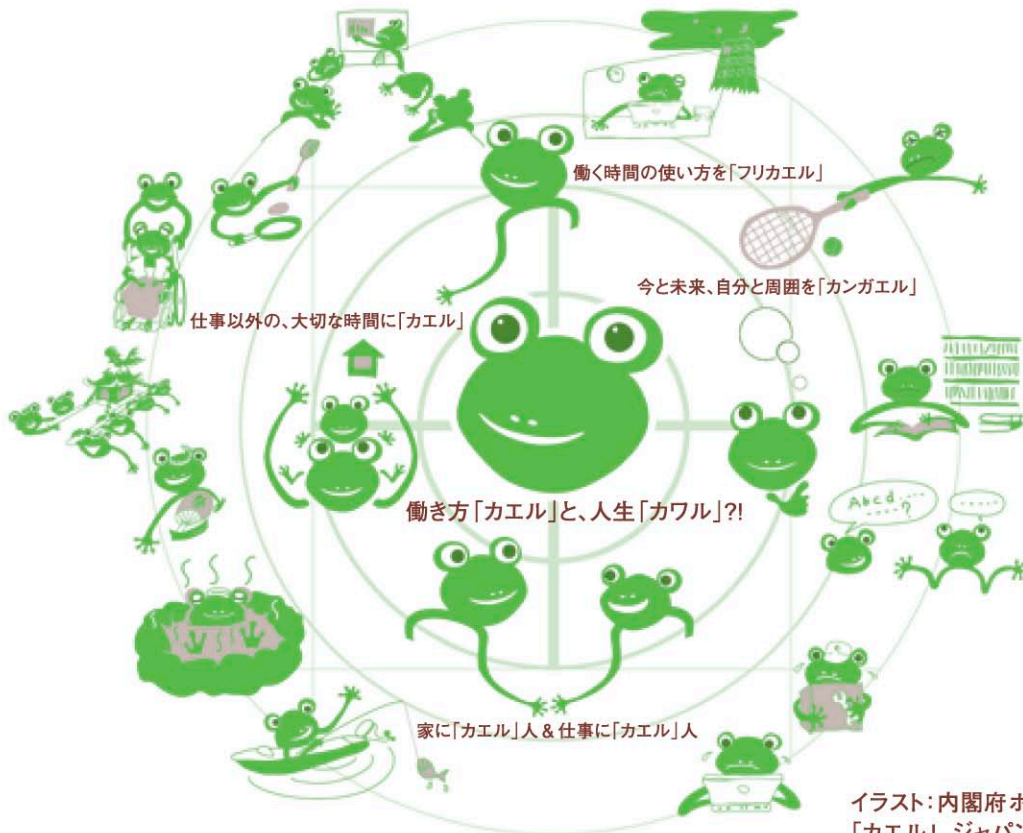




地球

2008年秋号

男女が共に生きる情報紙 VOL.78



あなたは、自分らしく生きていますか?

生きていることがうれしい社会、
自然体で生きられる社会を実現するために……
いま、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が求められています。

もくじ

- ひとつ「働き方」を変えてみよう! カエル! ジャパン *Change! JPN*
- 「ワーク・ライフ・バランス」がとれた社会の実現へ向けて
- がんばれ、ニッポン男児!
- ただいま育休中
- インフォメーション

ひとつ「働き方」を変えてみよう!

カエル! ジャパン

Change! JPN 

自分にとって心地いい働き方が
周りのみんなにも心地よく響くといいね。
ひとりひとりが、仕事も、人生も、めいっばいたのしめる
そんな会社や社会になるといいね。

たとえば「会議はみんなで1時間と決めてみる」とか
「朝、To Doリストを作ってみる」とか
…働き方を変えることで
プライベートをたのしむ時間をつくり出す。
社長も、ベテランも、新人も、
サラリーマンも、ワーキングマザーも…
「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」
の実現に向けて、仕事のやり方を何かひとつ、
今日から変えてみませんか?

カエル! ジャパンの世界を想像してみると……

- 働く時間の使い方を「フリカエル」
- 仕事以外の、大切な時間に「カエル」
- 今と未来、自分と周囲を「カンガエル」
- 家に「カエル」人 & 仕事に「カエル」人



「ワーク・ライフ・バランス」が とれた社会の実現へ向けて

ワーク・ライフ・バランスという言葉が最近よく耳にするようになりました。「仕事と生活の調和」という意味で、今、行政や企業が、調和のとれた社会の実現へ向けて取り組みを始めています。内閣府のホームページで調べてみました。パンフレット「仕事と生活の調和の実現に向けて」によると……。

ワーク・ライフ・バランスとは?

誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、様々な活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のことです。ポイントは3つ。

- I 男性も女性も、あらゆる世代の人のためのもの
- II 人生の段階に応じて、自分の希望するバランスで実現できるもの
- III 「仕事の充実」と「仕事以外の生活の充実」の好循環をもたらすもの

基本的な考え方

さまざまな理由で、仕事と生活が両立しにくい現代。理想は、『国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果しながらも、家庭や地域生活等さまざまな場において、また、子育て期や中高年期といった人生のさまざまな段階に応じて、多様な生き方が選択・実現できる社会』です。そのためには、いろいろな立場の人が連携し、社会全体で仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のための取り組みを行っていく必要があります。

平成19年12月、政財界・労働界・地方公共団体の代表者によって「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」と「行動指針」が決められました。そして、国は、今年からこの「憲章」と「指針」にもとづき「カエル! ジャパン」キャンペーンが実施されています。

(<http://www8.cao.go.jp/wlb/index.html>)



「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」が実現した

I 就労による経済的自立が可能な社会

若者がいきいきと働き、経済的に自立します。母子家庭の母等も就労により、経済的基盤を確保します。意欲と能力に応じて非正規雇用から正規雇用へ移行できます。

II 健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会

仕事で心身を害するような長時間労働がなく、健康な生活を送れます。家族などとの充実した時間や地域活動、自己啓発などの時間が持てます。メリハリのきいた働き方を通じて、時間あたり生産性も向上します。

現実とは?

仕事は経済的自立の他に喜びや生きがいにもなります。共働き世帯の女性は、単にその収入で文化的生活ができるという理由だけではなく、広く社会に関わることで、生き方や子どもを育む上での指針にもなることから、仕事を続けることを望んでいる人もいます。しかし、家庭内での女性への大きな負担は依然としてあります。また、男性は家計を自分が背負わなくてはならないという意識が強く、更には重い職務かかっているのでしょうか。仕事が優先され、残業が多くなっているのが現状です。

私生活に心配ごとがあったり、残業続きで疲労が溜まっているような状態では、集中力にも影響をきたすことが考えられます。心身の疲労は、リ・クリエイト(元気回復)して次の創造力と活力を再生する必要があります。だからリフレッシュが大切になってきます。

でも、私たちが仕事と生活を充実させ、調和のとれた生

自分にできることは何だろう？

今日、会社から歩いて帰ってみた。30分ぐらいの距離なのだが、いつもバスから見ている風景とは、ちがう景色が、歩く速さで順番にめぐってきた。

本当に近所なのに、気がつかなかった喫茶店や、自動販売機、百日紅が赤い花をつけていた。シクラメンの栽培農家では、こんな夏の暑い日にビニールハウスの屋根の手入れに追われていた。

「歩くと脳に刺激があって、いい考えやアイデアが浮かぶよ!」と友達に言われたのを思い出し、今日の仕事を振り返ってみた。大抵、仕事を振り返る時、反省したり落ち込んだりすることが多いけれど、今日は、なぜだか前向きな考えが浮かんでくる。

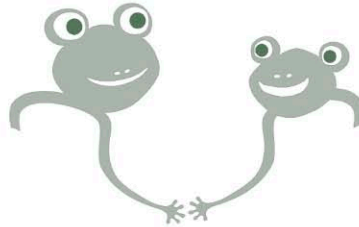
一日を始める時に今日の目標を決めてから行動してみようと思った。毎日、朝に目標を決めて、一日を始めてみる。ただ漠然と生きているより、うんと前向きな気持ち

が膨らんでくるはずだ。昔読んだ『夢をかなえる人の手帳術(著者:藤沢優月 出版:ディスカヴァー・トゥエンティワン)』という本に、一日1時間は、自分を振り返る時間が必要だということが書いてあったのを思い出す。そういえば最近、家事に追われて、自分と向き合う時間を全くとっていなかった。反省……。

人間の体の細胞は、骨を除けば4ヶ月ですっかり入れ替わると聞いたことがある。つまり、意識するだけでも変わり続けることができるということだ。

多くの人が「カエル!ジャパン」に賛同し、行動を起こしたら、今よりもっと生きやすい環境に変えられる気がしてきた。まずは一つ、わたしも試してみることにはしよう。

(川辺 記)



社会とは？

Ⅲ 多様な働き方・生き方が選択できる社会

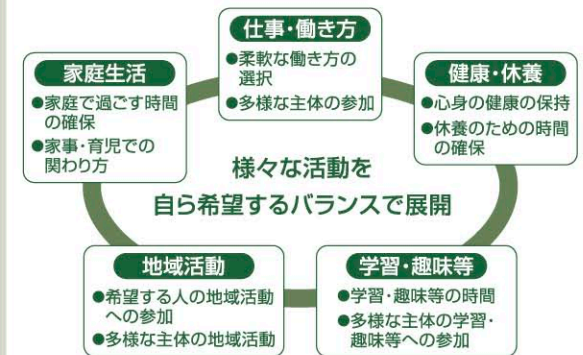
子育てや介護をする必要がある人も、多様で柔軟な働き方が選択できます。育児、介護、地域活動、職業能力の形成などの支援体制が整備されます。就業形態に関わらず、公正な処遇や能力開発機会が確保されます。

男女共同参画社会につながります

- 男女ともに働きやすい職場環境になります。
- 家庭に男性が参画することにより、家庭がパワーアップします。
- 男女がともに取り組むことによって地域社会の活動が活性化します。
- 男女ともに夢や希望を実現し、多様な人々が活躍できる社会になります。

(内閣府パンフレット「仕事と生活の調和の実現に向けて」より)

■ワーク・ライフ・バランス社会に向けたイメージ



(内閣府「男女共同参画会議ワーク・ライフ・バランス専門調査会報告」より)

活するには、働く場としての企業の理解や取り組み、国の支援が必要になってきます。

では、具体的には、どんな取り組みがあるの？

(企・働=企業・働く人、国・地=国・地方自治体 の略)

I 就労による経済的自立

企・働:就業形態に関わらない公正な処遇等

国・地:若年者などの経済的自立支援

II 健康で豊かな生活のための時間の確保

企・働:労使による長時間労働の抑制等、労働時間等の設定改善のための業務見直しや要員確保の推進等

国・地:労使による長時間労働の抑制等のための労働時間等の設定改善のための取組の支援

III 多様な生き方の選択

企・働:育児・介護休業、短時間正社員制度、テレワーク在宅就業など柔軟な働き方を支える制度整備など

国・地:保育サービスの充実等の多様な働き方に対応した子育て支援の推進、地域で育児・介護等を支える社会的基盤の形成

企業にメリットがあるのでしょうか？

社員の満足度、意欲が向上し、優秀な人の獲得や定着が進みます。

私たちが積極的に私生活を充実させることができると、能力を最大限に発揮し会社に貢献する意欲が湧いてくるものではないでしょうか。

多様な働き方・生き方の選択肢の幅が広がることで、メリハリのきいた働き方ができ、仕事以外の暮らしに欠かすことができない家庭のことをも男女が共に担い、その充実を分かちあってこそ、人生の生きがい、喜びが倍増していくのではないのでしょうか。

(三嶋 記)

がんばれ、

ニッポン男児!



HDIとGEMって?

男性の育児参加をはじめ介護休暇やメンタル面での休業など、多くの企業で「制度としては」きちんと整えられている現在の日本。では、それが実際に使われているか? と聞けば……。

ここに面白い数字がある。内閣府発行の『平成20年版 男女共同参画白書』を見ると、*HDI=人間開発指数が日本は世界でも177カ国中第8位とかなり上位にランクインしているのに、**GEM=ジェンダー・エンパワメント指数は93カ国中54位と下から数えた方が早いところに位置している。つまり、性別に関係なく教育を施されているのに、女性がいまひとつ活躍しにくい国なのである、日本は。

これは逆に言うと「男は仕事」ということにもなるのではないだろうか。過労死で亡くなる20~30代の男性が多いのも上記の数字が深く関わっていると思われる。また、働き盛りの男性の自殺に関しては、メンタル面での休業を取得すれば回避できたケースも少なくなかったと言われる。男性にとって「仕事を休む」ことは、この日本では至難の業のようである。

もうひとつ、内閣府の『少子化社会に関する国際意識調査報告書』から「就学前の子供の育児は主に妻が行う」パーセンテージが日本は66.8、アメリカ36、フランス45.1、そしてスウェーデンにいたってはなんと6.8という驚くべき数字を見ることができる(2006年3月)。また、いわゆる「三歳児神話(子どもは三歳まで母親が家庭で育てるという考え)」は日本で肯定派が70%近いが、スウェーデンでは否定派が70%近くになっている(同年同月)。う~ん、これでは男性が取りたくっても育児休暇は取りにくいだろう。

大体、育児パパさんがニュースになったり本になったりすること自体、珍しくて話題になるんだから。早くそんなことが「当たり前」になって欲しいものである。



同じ少子化に悩むお隣韓国でも妻が子育てを主に行っており、出生率の高い国は夫婦で育児分担しているというデータもあがっている。

少子高齢化が進む日本。「男は仕事、女は家庭を守っていればいいんだ」なんて言っていると年老いたときに後悔するのではないだろうか。

*HDI(人間開発指数):

「長寿を全うできる健康的な生活」、「教育」及び「人間らしい生活水準」という人間開発の3つの側面を簡略化した指数。具体的には、平均寿命、教育水準(成人識字率と就学率)、調整済み一人当たり国民所得を用いて算出している。

**GEM(ジェンダー・エンパワメント指数):

女性が政治及び経済活動に参加し、意思決定に参加できるかどうかを測るもの。HDIが人間開発の達成度に焦点を当てているのに対して、GEMは、能力を活用する機会に焦点を当てている。具体的には、国会議員に占める女性割合、専門職・技術職に占める女性割合、管理職に占める女性割合、男女の推定所得を用いて算出している。

今春、高校を卒業した息子だが、彼の周りを見ても最近の女の子は本当にしっかりしている。男の子は「〇〇を勉強したい」と言って大学へ進むのに比べて、女の子は「〇〇になりたい」という明確な目標に向かって進路を決めている子が多いのには本当に驚かされた。加えて、将来の夢が「お嫁さん」なんて言う女の子には一人も会わなかった。もちろん、中にはいるかもしれないが。女の子の母親達も口を揃えて、「娘には「手に職を付けなさい」と言っているのよ。とにかく、一人でも十分に生きて行けるように、と小さい頃から言ってきたわ」と言う。



ある日、息子に聞いてみた。

「君が結婚して、育児休暇が取れる制度のある職場だったら、ちゃんと取る?」

息子、くると振り返り、即座に

「うん、取るよ。子どもとピクニックへ行くのが夢なんだ」。

へえ、ほお、頼もしい一言。

しかし、彼女いない歴18年の息子。育児どころか

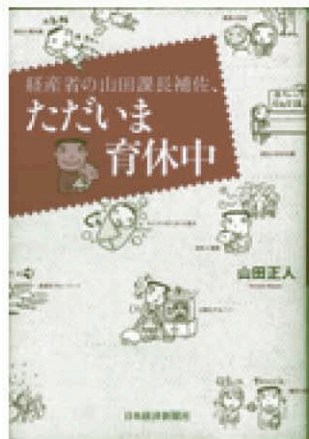
結婚いや男女交際という難関があるではないか。先は長いが、とにかくにも……がんばれ、ニッポン男児!



(尾澤 記)

ただいま育休中

育児は女性の仕事という観念がまだありますが、男性の中にも、仕事だけでなく、育児も、両方腰を据えて取り組めたたらありがたいと考える人は意外と多いのではないかと思います。『経産省の山田課長補佐、ただいま 育休中（著者：山田正人 出版：日本経済新聞社）』を読みました。男性が育児休業を取るという「前例のない職場」「世間の好奇の眼」果ては「出世に響くのではないか……」など、目に見えない大きな壁がありました。山田さんはそれらを下記のような理由に後押しされて、2004年10月、育児休業取得に踏み切りました。



すでに山田夫妻には2歳半になる男女の双子がおり、第3子の誕生を控えての育休でした。同じ経産省に勤務中の妻は仕事の山場が控えており、2年半前の双子の出産時に続き、また妻が1年間育休を取る事は、夫婦間で公平さに欠ける気がしたということでした。

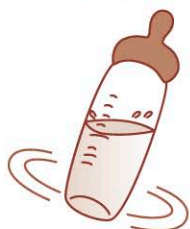
それから友人の「わたしのところで、男性が育休をとりたいなんて言いたしたら、常識的にもう『アウト!』でしょうなあ。『やる気なし』という烙印を押されて一生復活できないでしょうね」この発言が育休取得の最終的な引き金となり、自分の育休が、自分のみならず、他の組織の「常識」を覆すきっかけになるかもしれないという思いだったそうです。

いよいよ子育てスタート

3時間毎の授乳、おむつ換え、保育園への送迎、離乳食作り、突然の病気での救急車、3人いれば、いつも誰かが泣いている……等々、待たなし、エンドレスの育児が続きます。

読み進むと「子育ては女性の方があっている」などと簡単には言えないことに気づかされます。台所の流しで赤

ちゃんをお風呂に入れるのは、手が大きく力もある男性のほうが適しているのではないかと指摘には納得です。要するに子育ては、男女差ではないのだと思います。



そして、男性でなければ気づかなかった次のようなことを指摘され、女性の私はハッとしました。

- 育児書は、若い女性対象の表紙や中身なので、男性も人前で広げられるものがあると思う
- 著者が保健所、病院へ赤ちゃんを連れて行くとき「お母さんは？」と聞かれる。育児はお母さんだと頭から決めている対応が多い
- 育休中の男性へ「長い休みでいいですね」という何気ないあいさつに違和感を覚える

2児の子育てを経験した私には、「よくぞ書いてくれました」という箇所がありました。

“ずーっと一人で、高志と家で向き合うことになる。「家で子どもと向き合っていると息がつまりそう。ノイローゼになりそう」子育て中の親が言っているのはこういうことだったのか。家から出たい時に出不れず、外の空気が吸えない、というのは本当につらい。息がつまりそうで悶々とする。こんなにもつらいものか。完全に見くびっていた。これでは、世の中の若い女性がこの苦痛に耐えられないのは当然だろう”（本より抜粋）

経験した者にしか解らない、忘れることのできない記憶です。

そして著者は「プチ、うつ」（軽いうつ病）を経験します。子育ての大変さはこうした精神的な拘束が大きいと私も実感しています。

孤独や戸惑いの経験もありましたが、著者は「あとがき」に、“本当に子育ては自分でも驚くほど発見と感動の連続だった”と記しています。

子育ての体験は人生の貴重な宝だと私も思います。

後記

何事も最初に行うのは勇気のいる事です。家族への思いやりと、これからは男性も育児休業を取れる環境をつくりたいという著者の熱い思いが休業取得の実現の扉を開き、彼は1年後に職場へ復帰しました。

街で乳母車を押している、お父さんに出会ったら、以前より優しい眼差しで見守れそうな予感がしました。

（井戸 記）

インフォメーション

男女共同参画課からのお知らせ

共に生きるフォーラムふじさわ2008開催のお知らせ

- テーマ: 男女脳の違いを知って、人生の達人になろう
- 講師: 黒川 伊保子 氏 (感性アナリスト・随筆家)
- 日時: 11月23日(日・祝) 13:30~15:30
- 場所: 藤沢市役所 新館7階第7会議室
- 定員: 200名(申込み順)
- *参加無料・保育あり(要予約)
- *申込み等の詳細については、「10月25日号の広報ふじさわ」・課のHP等をご覧ください。



男女共同参画週間ポスター展終了しました!

前号でお知らせいたしました「男女共同参画週間」で、市では、藤沢駅北口地下道展示場において、男女共同参画ポスター展を開催いたしました。ご覧いただけましたか?

男女共同参画週間・DV防止のポスターにDVの相談先、男女共同参画課の事業案内などに加え、村岡中学校の生徒さんが作ったいじめ防止のポスターをお借りして掲示いたしました。(ご協力ありがとうございました。今後色々な形で男女共同参画の啓発をおこなって参ります。



男女共同参画に関する意識調査実施のお知らせ

10月末から11月にかけて、「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施いたします。住民基本台帳からの無作為抽出により、3000人に調査票をお送りいたします。どうぞ、ご協力をお願いいたします。

公民館等の講座

申込み・問合せ: 各公民館

ワークライフバランスセミナー

藤沢公民館 ☎ 22-0019

- 内容: 仕事と家事・育児との両立のコツ
- 講師: あらかわ 菜美 (時間デザイナー)
- 日時: 11/25、12/2・9 全火曜日 10:00~12:00
- 対象: 成人女性30人(保育あり)
- 申込み: 10/27(月)から 電話または来館で(先着順)

親子の楽校 家庭科編

善行公民館 ☎ 81-4431

- 内容: お父さんと一緒にクリスマスクッキング
- 日時: 12/7(日) 9:30~12:30
- 対象: 小学生以上と父親12組
- 申込み: 11/18(火)から電話又は来館で(先着順)

かがやけ地球は市民の編集員さんの企画・運営によって、年4回発行しています。
編集スタッフ: 井戸君江・尾澤敦子・川辺裕子・三嶋和代

藤沢・茅ヶ崎・寒川 “湘南” がエリアのFM放送局



<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121

勤労市民課の講座

申込み・問合せ ☎ 50-8222

就職支援セミナー

- 雇用形態別: 就職のプロセス・適職選択、応募書類の書き方、面接対策ほか
- 日時: 11/11、12/2、2009.1/6…全火曜日
*正社員希望者対象……………13:00~17:00
*パート・アルバイト希望者対象……………10:00~12:00

■対象別: 各対象者にあった、就職に対してのアドバイスをしながら就職等のプロセスを学ぶ。

- 日時: 若年者対象…10/21午前、11/18午後、1/20午前
高齢者対象…10/21午後、12/16午前、1/20午後
女性対象……………11/18午前、12/16午後
全火曜日 午前9:30~12:30 午後13:30~16:30

- 対象: 市内在住在勤の就職・転職を希望する方、各36人
- 申込み: 随時(定員になり次第締切り)

就職支援個別カウンセリング(ひとり1時間以内)

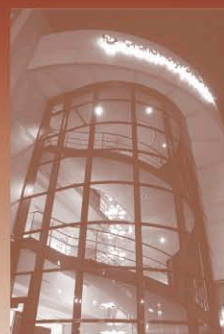
- 内容: 就職に向けた相談に個別アドバイスします。
- 日時: 10/16・23・30、11/6・13・20・27、12/4・11・18・25、2009.1/8・15・22・29…全木曜日
①10:00~②11:10~③13:10~④14:20~⑤15:30~
- 対象: 市内在住在勤の就職・転職を希望する方、各日5人
- 申込み: 随時(定員になり次第締切り)

かながわ女性センターからのお知らせ

DV防止・人権啓発シンポジウム&映画会
生き生きと心豊かに暮らすためにDVのない未来へ!

- 日時: 10/25(土) 10:30~16:05
- 会場: 神奈川県立かながわ女性センター
- シンポジウム:(10:30~13:00) 基調講演/辛 淑玉(しんすく)氏
シンポジスト/辛 淑玉氏・高橋 実生氏・沼崎 一郎氏
コーディネーター/阿部 裕子氏
- 映画会:(14:00~16:05)「スタンドアップ」
全米で最初にセクハラ訴訟に勝った実在の女性をモデルにした映画
- 問合せ・申込み: かながわ女性センター 参画推進課
電話・FAX・ホームページからのメールによる事前申込み制
- 電話: 0466-27-2118 ■FAX: 0466-25-6499
- URL <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/02/0050/center/sankaku/>
- *入場無料・保育あり(1歳以上就学前・予約制)

Grand Hotel SHONAN*



All for the Guest.
すべては、お客様のために…

ご予約/お問い合わせは

☎ 0466-22-1311

<http://www.shonanhmg.co.jp/fujisawa>

〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町11番地

再生紙を使用
しています